日本遺族通信
平成27年9月15日
第777号

一般財団法人日本遺族会
〒102-0074東京都千代田区九段南一丁目六番五号
電話　03－3261－5521
振替　00160-6-25389
編集発行人　畔上和男
毎月1回15日発行
定価　1部130円（税込）

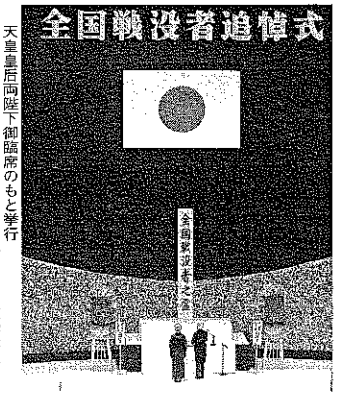
日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

平和への誓い新たに

全国戦没者追悼式

英霊の冥福を祈る
70回目の終戦記念日

七十回目の終戦の日を迎えた八月十五日、政府主催の全国戦没者追悼式が東京都千代田区の日本武道館で天皇・皇后両陛下のご臨席を仰ぎ挙行された。追悼式には全国各地の戦没者遺族のほか、安倍晋三内閣総理大臣をはじめ各界代表ら約六千五百人が参列し、正午に一分間の黙禱が捧げられ、天皇陛下が「深い悲しみを新たにいたします」とおことば（別掲）を述べられた。



天皇皇后両陛下御臨席のもと挙行
＝8月15日、日本武道館で

式典は、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」の八月十五日、正午前に開始され両陛下の御臨席後、参列者全員で国歌を斉唱した。

続いて安倍総理が式辞で「戦後七十年にあたり、戦争の惨禍を決して繰り返さない。今を生きる世代、明日を生きる世代のために、国の未来を切り拓いていくことをお誓いいたします」と決意を述べた。

その後、両陛下は「全国戦没者之霊」と書かれた標柱の前に進まれ、正午の時報に合わせて参列者とともに戦没者へ一分間の黙禱を捧げられ、天皇陛下がおことばを述べられた。

また、遺族を代表して父親を東部ニューギニアで亡くした野間征子さん（大阪府遺族連合会副会長）が追悼の辞（別掲）を述べた。

今回の式典は、本会が全国の遺族一九となって、全国戦没者追悼式への国費参列者の対象範囲の拡大等を政府に対し要望してきた結果、国費参列者の増員が決定し一都道府県あたり五人増員の五十五人（内一人は十八歳未満の遺族）となった。また、終戦七十周年の節目の年であることから、先の大戦の記憶を風化させることなく次の世代へ継承するため、全国から青少年（十八歳未満）の遺族九十八人が参列し、今回初めて戦没者の曾孫世代にあたる八歳から十七歳までの遺族六人が「青少年代表」として献花を行った。

参列した遺族は五千五百二十五人で戦没者の父母の参列はなく、妻は十四人、孫は三百十七人、曾孫は九（一％）が戦後生まれの世代で初めて二割を超えた。また、参列者の内千百九人（二十・

天皇陛下おことば

「戦没者を追悼し平和を祈念する日」に当たり、全国戦没者追悼式に臨み、さきの大戦において、かけがえのない命を失った数多くの人々とその遺族を思い、深い悲しみを新たにいたします。

終戦以来既に七十年、戦争による荒廃からの復興、発展に向け払われた国民のたゆみない努力と、平和の存続を切望する国民の意識に支えられ、我が国は今日の平和と繁栄を築いてきました。戦後という、この長い期間における国民の尊い歩みに思いを致すとき、感慨は誠に尽きることがありません。

ここに過去を顧み、さきの大戦に対する深い反省と共に、今後、戦争の惨禍が再び繰り返されぬことを切に願い、全国民と共に、戦陣に散り戦禍に倒れた人々に対し、心からなる追悼の意を表し、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります。

追悼の辞

本日、ここに天皇陛下皇后陛下のご臨席を仰ぎ、各界の代表をはじめ、全国各地から遺族代表が集い、全国戦没者追悼式が挙行されるにあたり、戦没者遺族を代表して、謹んで追悼のことばを申し上げます。

今日この日は、先の大戦が終結し七十年となります。過ぎし戦において、祖国の安泰と家族の行く末を案じつつ、ある人は厳寒の北方地域の戦いに、ある人は鉄をも溶かす灼熱の島での戦いに、祖国のために勇んで赴かれ、尊い命を捧げられました。

両陛下が常に戦没者の事に想いをいたされ、本年はパラオ諸島を訪れられ、御霊に深甚の誠を捧げてくださいました事は、私達遺族にとりましても無上の歓びでございます。遺族一同を代表いたしまして、心よりお礼申し上げます。

私事となりますが、私の父が出征したのは、まだ私が、母親のおなかの中にいた時でした。写真でしか知らない父ですが、父親の面影を追って、先祖ニューギニアへ行って参りました。日本からはるか隔たれた異郷の地で、父はどの様な思いで死んでいったのかと思うと、胸の奥から込み上げてくるものがありました。

戦争は実に惨憺たるものであります。私たちが身をもって体験した悲しみや苦しみは、誰にも味わわせてはならない教訓、平和の有難さ、命の大切さをしっかり伝え、再び戦禍を繰り返す事無く、世界の安全平和にむけて、弛まぬ努力をいたしますことを、お誓い申し上げます。

政府が、八月十五日を「戦没者を追悼し平和を祈念する日」に制定されましたことは、誠に意義深いものと存じます。

本日は、多くのご来賓のご参列のもとに、かくも厳かに追悼式を挙行いただきまして、有難うございました。

終わりに、御霊たちのご冥福、祖国日本の平和と発展、ご参列の皆様のご多幸とご健康を祈念いたしまして、追悼のことばといたします。

平成二十七年八月十五日

全国戦没者遺族代表　野間 征子

28年度概算要求
遺骨収集事業強化へ

財務省は八月三十一日、平成二十八年度政府予算の各省庁からの概算要求を締め切った。要求総額は二十七年度当初予算（九十六兆三千四百二十億円）に比べ約六兆円増の百一兆円台となり、前年度の要求総額並みとなった。

本会が要望した戦没者遺族の処遇改善等に関する概算要求は次のとおり。

恩給法関係

恩給を支給するための恩給費　三千二百六十三億八千万円

厚生労働省関係

一、援護年金　百三十億三千七百万円

二、遺骨収集帰還事業の強化（硫黄島、南方（旧ソ連）二十二億四千九百万円、三、戦没者慰霊事業等　八億四千百万円

内訳

(1)慰霊巡拝等　三億九千百万円

(2)戦没者遺児による慰霊友好親善事業等　二億九千九百万円（うち、海外・国内民間慰霊碑の管理二千万円を含む）

(3)全国戦没者追悼式挙行経費　一億五千万円

四、昭和館事業　四億六千九百万円

本会では、年末の予算編成時に向け、概算要求額の完全実現を目指し陳情運動を進めて行く。

※概算要求の詳細は来月十月号に掲載する。

事務所移転のお知らせ

平成二十六年十一月二十八日付けで、「財団法人日本遺族会に対する国有財産の無償貸付に関する法律（昭和二十八年法律第二百号）の一部を改正する法律」が公布され、施行された。同法律は、施行日から一年以内に建物（九段会館）及び土地を国へ返還し、民間事業者が新たに建築した建物の一部を国が取得して遺族会へ無償貸付するとしている。これに伴い、新建物の完成までの間、本会の事務所を移転することとなった。

新事務所は、九段会館に隣接する千代田会館（千代田区九段南一―六―一七）三階の貸室に十月下旬に移転する予定である。

声なき声

10年振りに旧ソ連・ロシアの地を踏んだ。ハバロフスクの街並みは変わらず、夕暮れ時の風景は前と同じ「日本に一番近いヨーロッパ」という印象を甦らせた。アムールとウスリーの合流地点・大河は豊満な水を湛え悠々と流れていた。プラゴエシチェンスクから対岸の中国を見るとここ数年で目まぐるしく開発され、レンガの建物と大きな煙突一つのみ目立った村は地方都市と化し、ロシアとのギャップを感じるとガイドは話した。ここは終戦直後抑留者を集結させ1200ヶ所の収容所に振り分けた所の一つである。遺骨収集に参加した事のある団員は20年前は川の真中に船が停泊し警備員がいたと語った…埋葬地に赴き頭を垂れると「異国の丘」の歌詞が浮かび当時の事が偲ばれた▼終戦時に「外地」にいた日本人は660万人、当時の人口の10％に近い。それぞれが命がけで故郷を目指したという。ソ連兵はやりたい放題で略奪・暴行・凌辱の限りを尽くした。銃口を突きつけられ、歯がガタガタ震えたとの話を聞き、想像のつかない恐怖の極限に、今の平和のありがたさを改めて痛感した▼健康寿命も日本人がトップという。戦後70年、日本は平和を享受してきたが先の大戦が風化されようとしている。抑留・特攻・大空襲とそれぞれの立場の仲間が戦争を語り継ぐ会を結成し地元の小中高校で講演活動をしているという。健康な皆さんに一層の活躍をと願う所である。（A）

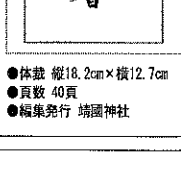
平成二十八年靖國暦
―好評頒布中―

現在、靖國神社では『平成二十八年靖國暦』を頒布しています。

本暦は、昭和二十三年から発行されており、嘉永六年から明治・大正・昭和の三代の出来事を「今月の御祭神ゆかりの主な出来事」として掲載しているのが特色です。

是非、座右に置かれて日々御活用戴きたく存じます。

申し込み受付中



●体裁　縦18.2cm×横12.7cm
●頁数　40頁
●編集発行　靖國神社

◆主な内容

○靖國神社の由緒、祭事暦　○家庭のみたままつり　○年中行事と節気　○十干・十二支表、日の吉凶　○人生儀礼の説明　○厄年表　○国歌と国旗の知識　○歴代天皇・年号一覧表　○参拝の御案内　○手水・玉串拝礼の作法　○全国の護國神社一覧表　○年齢早見表

◆頒布価格―一部三〇〇円（送料別途一二〇円）

▽三〇〇部以上取りまとめの場合は、左記の通りの頒布価格となります。

三〇〇部以上　一部一五〇円
五〇〇部以上　一部一〇〇円

▽送料　一部一二〇円・二部一四〇円　三部一八〇円・六部まで二一五円　※七部以上はお問い合わせ下さい　※三〇部以上は当神社負担

◆お申し込み方法

「官製はがき」または「FAX」にて部数・住所・氏名・電話番号を御記入の上、お申し込み下さい。

※現金書留、または暦と同封の払込取扱票にて御送金下さい。

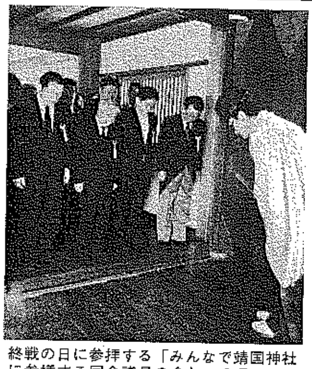
◆お申し込み先

靖國神社社務所（広報課）
〒102-8246　東京都千代田区九段北三―一―一
TEL〇三（三二六一）八三一六
FAX〇三（三二六一）八六二五

みんなで参拝国会議員 161人が靖国神社を参拝

終戦の日

超党派の国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」（会長・尾辻秀久参議院議員）は八月十五日午前十一時、百六十一人（代理含む）の衆参国会議員が靖国神社に揃って昇殿参拝した。また、有村治子女性活躍担当大臣、高市早苗総務大臣、山谷えり子国家公安委員長、稲田朋美自民党政調会長らも個別に参拝した。



終戦の日に参拝する「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」＝8月15日、靖国神社で

終戦から七十年を迎えた八月十五日、九段坂界隈は靖国神社、千鳥ケ淵戦没者墓苑に参る人、日本武道館での全国戦没者追悼式参列者などで終日賑わった。

靖国神社の境内では、社頭に向かう参拝者の列は引きも切らず長蛇の列をつくり、その中でも、小さな子供の手を引いた若い家族連れや、若者の参拝者が目につき、靖国神社への関心の高さが窺えた。また当日は、昨年より二万人多い約十九万人が訪れ、夏空の下、今日の平和の礎となった先人へ感謝の誠を捧げた。

その様な中、午前十時十五分、有村治子女性活躍担当大臣、同二十五分、稲田朋美自民党政調会長、同三十分、高市早苗総務大臣が相次いで靖国神社に赴き、昇殿参拝した。午後一時二十五分には、山谷えり子国家公安委員長が昇殿参拝した。特に女性三閣僚は、昨年九月に発足した第二次安倍改造内閣での閣僚就任以来、三度目の靖国神社参拝となった。

午前十一時、「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」に所属する会員らは、尾辻会長、水落敏栄みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会事務局長（本会会長・参議院議員）らに続き、揃って昇殿参拝した。

参拝後、記者から「昨年に比べ三十三人減ったが、その要因は」と問われた尾辻会長は、「年ごとに人数には差がある。地元の護国神社に参拝する議員もいる」と答えた。

これとは別に、森田健作千葉県知事、鈴木英敬三重県知事がそれぞれ知事就任以来七回連続、四回連続で参拝した。

また、安倍晋三内閣総理大臣の参拝は今回もなかったが、萩生田光一自民党総裁特別補佐に私費で託した玉串料が本殿に捧げられた。萩生田総裁特別補佐は参拝後、総理から「ご英霊に対する感謝の気持や靖国への思いは変わらない」と伝えられた、と記者団に語った。

靖国神社参拝 衆参国会議員 みんなで参拝

平成二十七年八月十五日、「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」で参拝した百六十一人（代理人含む）の衆・参議員は次のとおり。（党派別、敬称略）

議員本人参拝

▼衆議院

【自民党】逢沢一郎、秋本真利、穴見陽一、石川昭政、井上信治、衛藤征士郎、大串正樹、大西宏幸、岡下昌平、奥野信亮、小倉將信、梶山弘志、岸信夫、北村誠吾、工藤彰三、櫻田義孝、新谷正義、新藤義孝、高鳥修一、田中和德、田畑裕明、田村憲久、土屋正忠、豊田真由子、長尾敬、長坂康正、根本幸典、野中厚、平沢勝栄、星野剛士、堀内詔子、三ツ林裕巳、宮川典子、武藤貴也、簗和生、山田美樹

【維新の党】河野正美、村岡敏英、吉村洋文

【次世代の党】平沼赳夫

【無所属】上西小百合

▼参議院

【自民党】赤池誠章、石井正弘、磯﨑仁彦、岩井茂樹、岩城光英、江島潔、尾辻秀久、北村経夫、熊谷大、佐藤信秋、佐藤正久、塚田一郎、豊田俊郎、中川雅治、中原八一、長峯誠、舞立昇治、松村祥史、三木亨、水落敏栄、三宅伸吾

【民主党】小見山幸治、芝博一、羽田雄一郎

【維新の党】東徹

【次世代の党】中山恭子

議員代理参拝

▼衆議院

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、あべ俊子、石破茂、井林辰憲、今村雅弘、江藤拓、小里泰弘、加藤勝信、金子一義、金子恭之、金田勝年、神山佐市、菅家一郎、神田憲次、城内実、木原稔、木村太郎、小池百合子、小松裕、佐々木紀、佐田玄一郎、左藤章、塩崎恭久、塩谷立、柴山昌彦、島田佳和、白石徹、鈴木淳司、瀬戸隆一、高木毅、武井俊輔、竹本直一、棚橋泰文、田野瀬太道、土屋品子、渡海紀三朗、冨樫博之、冨岡勉、中谷真一、西川公也、西村明宏、西村康稔、丹羽秀樹、野田聖子、葉梨康弘、原田憲治、平井たくや、福井照、ふくだ峰之、藤丸敏、藤原崇、古川禎久、細田健一、松本純、三ツ矢憲生、三原朝彦、宮内秀樹、宮澤博行、山本公一、山本拓、山本有二

【民主党】鈴木貴子、笠浩史

【維新の党】足立康史、重徳和彦、松浪健太

▼参議院

【自民党】青木一彦、阿達雅志、井原巧、宇都隆史、衛藤晟一、大家敏志、島田三郎、関口昌一、滝沢求、中泉松司、中曽根弘文、中西祐介、二之湯武史、橋本聖子、馬場成志、福岡資麿、松山政司、三原じゅん子、山谷えり子、山本一太、山本順三、若林健太

【民主党】金子洋一

【維新の党】片山虎之助

【日本を元気にする会】アントニオ猪木

【無所属】山崎正昭

時局に思う

日本遺族会会長 参議院議員 水落敏栄

戦後七十年節目の年に 会長就任と父の慰霊碑に参拝

さる九月四日、山形県東根市戦没者追悼式に参列いたしました。東根市は、私の父が戦死した神町海軍航空隊があった場所で、戦後五十年の平成七年に一度お参りしましたが、それ以来の訪問となりました。

神町海軍航空隊は昭和十七年設置され、今は自衛隊第六師団司令部が置かれています。私の父は、飛行整備兵として今の山形空港で勤務中に、東北主要地域一帯が空襲に見舞われた際、米軍機の爆撃にあい戦死しました。昭和二十年八月九日、終戦の六日前の出来事でした。

今回は山形県遺族会、東根市遺族会のお力添えで、自衛隊第六師団長に特別の許可を頂き駐屯地へ入ることが出来ました。敷地内を見渡すと自然と父の面影が浮かびました。二歳半で父を亡くした私には遺影しか記憶にありませんが、三十五歳で亡くなった父の齢をはるか越えた今、ここでどんな作業をしていたのか、仲間との平穏な日々が少しはあったのだろうか、最期は何を思ったのか、苦しかっただろうか、色々な思いが頭を巡りました。

そして敷地内にひっそりとたたずむ慰霊碑に花を手向け、手をあわせました。母が生きているうちに一緒に来たかった。そう思った瞬間涙がとめどなく流れました。

戦後、母と兄姉三人その日を生きるのさえ大変だった毎日を思い出し、どんなに父がいてくれたらと思いました。幸い沢山の方々に支えられ、私たち兄姉はそれぞれ伴侶を得て、今は子や孫に囲まれ幸せに暮らしていると持参した家族写真を胸に報告しました。

戦後七十年という節目の年に、遺族会会長に就任させていただき、父の慰霊碑に参拝する機会を得られたことは、何かの縁を感じずにはいられません。私は本来、日本遺族会会長の重責を担うような器ではありません。しかし、多くの方々のご推挙を受けて大役を拝命したのは、私が自身の人生をかけて、恒久平和な社会を実現するために働くよう先輩方に激励していただいたと感じ、決心したからであります。

故に私は戦争の風化を防ぐため、平和の語り部の後継者となる戦没者の孫、ひ孫の皆さんを遺族会組織に参画してもらい、永遠に平和を希求する遺族会活動が続けられるよう、これからも精進努力して参りますので、皆様方には引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

父親が戦死した神町海軍航空隊があった場所の慰霊碑に献花する水落会長

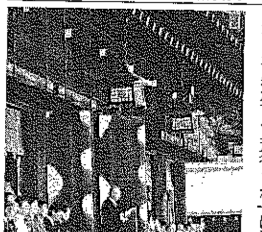
全国戦没者慰霊大祭

終戦の日、靖国神社で斎行

英霊にこたえる会

終戦七十年記念日にあたる八月十五日、英霊にこたえる会主催の「第四十回全国戦没者慰霊大祭」が、午前九時から靖国神社拝殿において水落敏栄参議院議員（本会会長）、森田次夫副会長（本会顧問）をはじめ、自衛隊の統合・陸上・海上・航空各幕僚長、都道府県本部、中央参加団体ら約三百五十人が参列して斎行された。

祭典は、拓殖大学吹奏学部の演奏による国歌斉唱に始まり、祝詞奏上の後、寺島泰三会長が祭文を奏上した。寺島会長は祭文の中で、今年四月八日、九日に天皇・皇后両陛下がパラオ共和国のペリリュー島を慰霊訪問し行幸啓されたことにふれ、両陛下の「靖国神社行幸啓は遺族はじめ日本国民挙げてご期待申し上げている。そのためには、国民の代表である国会議員が率先して参拝し、総理及び閣僚の靖国神社公式参拝を定着させなければならない」と述べた。最後に参列者全員が本殿で玉串を捧げ拝礼し、英霊のご加護を祈念した。



祭文を奏上する寺島泰三英霊にこたえる会会長＝8月15日、靖国神社で

中央国民集会

午前十時三十分から、靖国神社参道の特設テントで、英霊にこたえる会と日本会議共催の「第二十九回戦没者追悼中央国民集会」が開催され千六百余人が参集した。集会では、終戦の詔書拝聴（玉音放送）、寺島会長、田久保忠衛日本会議会長の主催者代表挨拶のあと、自民党政調会長の稲田朋美衆議院議員ら各界代表から提言があった。

正午には、日本武道館で開催されている全国戦没者追悼式にあわせて英霊に黙祷を捧げ、実況放送を通じて天皇陛下のお言葉を拝聴した。

硫黄島で七柱を収容

遺骨収集相次いで実施

厚労省

厚生労働省は、今年四月から硫黄島戦没者遺骨収集帰還派遣の掘削立会を相次いで実施している。

掘削立会は、防衛省が実施した地中探査により反応があった区域のうち、硫黄島自衛隊基地滑走路下の反応箇所について、重機等による掘削調査の立会業務を実施し、遺骨の確認など検証作業を行うことを目的に、六月十日以降、八月三十一日までに第六回から第十七回の掘削立会が実施され、本会から各派遣に一人が参加した。

六月三十日には遺骨の収容を目的とする第二回収容団が硫黄島に派遣され、南部落から日出浜までにかけての地域に点在する壕を調査し、期間中に七柱が収骨された。

本会の諸会議

▼事務局長会議　6月9日　①支部事務局長の交代②第7回理事会、第3回評議員会、第8回理事会の決定事項③事務局長・事務局職員研修会の開催について。

▼常務理事会　7月29日　①英霊顕彰・処遇改善運動の経過並びに今後の運動方法②「全国戦没者遺族代表者会議」の開催日変更並びに大会開催への変更について。

一般財団法人 日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、英霊顕彰や遺族援護など様々な活動のために賛助金を募っております。

本会は、これまで英霊の顕彰並びに戦没者遺族の福祉増進をはかるため、日々活動を行ってきたところでございますが、東日本大震災により収益部門であった九段会館が閉館したことに伴い、現在、慰霊友好親善事業をはじめ遺骨収集帰還等各種事業の継続が大変厳しい状況にあります。

本会といたしましては、各種事業を行うにあたり、今後とも努力していくことは勿論のことですが、戦没者ご遺族並びに本紙ご購読者、本会の諸事業にご賛同される皆様方より一層のご支援、ご協力を仰がなければなりません。

本会の活動の趣旨にご理解を賜り、何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。

大変恐縮ですが、ご賛同いただいた方の氏名を本紙に掲載し、お礼に代えさせていただきます。

※賛助金につきましては、誠に勝手ではございますが、お一人様**1万円程度**からお願いしております。

賛助金のお振込みは

●郵便振替 00130-2-694929

●みずほ銀行　九段支店 普通預金　0980930

口座名はいずれも…一般財団法人日本遺族会：ザイ）ニホンイゾクカイ

※ご不明な点は本会事務局（電話03-3261-5521）までお問い合わせ願います

異郷の地で父を弔う
旧満州、旧ソ連を訪問

好業　友事　霊善　慰親

日本遺族会では八月、厚生労働省より補助を受けて実施している「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の旧満州、旧ソ連地域をそれぞれ実施した。今回の旧満洲地域では白城を初めて訪問する等、一行はそれぞれ亡き父の眠る地において、心ゆくまでの慰霊追悼を行うとともに旧満洲では植林活動を、旧ソ連では孤児院や病院等を訪問し友好親善に努めた。

旧満州

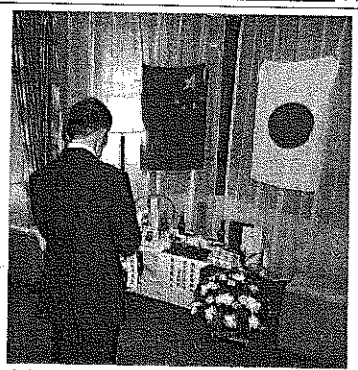
安齋満本会理事（福島県遺族会代表理事会長）を総括団長とする日中友好訪問団（東北地区）は八月二日、全国の遺児二十五人が東京で結団式を行い翌日満州各地で慰霊追悼を行った。

A班は、亡き父の縁の地となる海拉爾の第二地区陣地、第一、二陸軍病院、斉斉哈爾では旧日本軍屯営、白城では郊外の内蒙古自治区の西科中旗、長春では新京陸軍病院、瀋陽では郊外の海城陸軍病院を訪れ、合掌し無言の語らいを行った。また、それぞれの滞在地で慰霊祭を行い、亡き父のご冥福を祈った。

B班は、牡丹江の下城子、牡丹江病院、愛河縦、寧安、延吉、吉林の各地で慰霊祭を行い感謝と追悼の誠を捧げた。

また、A班は瀋陽郊外で、B班は図們市郊外で植樹し、環境整備に努めた。

十一日には、在瀋陽日本国総領事館、中華全国青年連合会の方々を交え、懇談会を催し、互いの意見交換がなされ、翌十二日には全員無事に帰国した。



室内に祭壇を設え、厳粛に執り行われた慰霊祭＝8月10日、瀋陽で

旧ソ連

旧ソ連慰霊友好親善訪問団（総括団長・畔上和男本会専務理事他十四人）は、八月二十四日、東京・靖国会館に集合し結団式を行い、翌二十五日、シベリア県慮家村と南湖頭、延吉では陸軍病院や旧関島収容所跡、汪清県太平溝、神仙洞附近、さらに中国と北朝鮮国境を流れる図們江を訪れ亡き父に語りかけ、牡丹江、延吉、吉林の各地で慰霊祭を行い感謝と追悼の誠を捧げた。

十一日には、在瀋陽日本国総領事館、中華全国青年連合会の方々を交え、懇談会を催し、互いの意見交換がなされ、翌十二日には全員無事に帰国した。

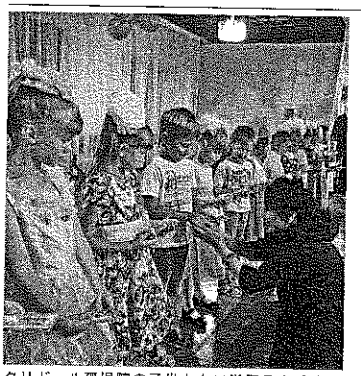
旧ソ連

旧ソ連慰霊友好親善訪問団（総括団長・畔上和男本会専務理事他十四人）は、八月二十四日、東京・靖国会館に集合し結団式を行い、翌二十五日、シベリア抑留で亡くなった父親を慰霊するため、ロシアのハバロフスクへ向かった。現地に到着した一行は、二班に分かれ、A班四人はハバロフスク地方のホール、ビロビジャン、クリドール、アムール州のブラゴエシチェンスクで、B班十人はイルクーツク州チェレンホーボー、ポタルブイハ、チタ州ノーバヤ、ヤブロノバヤで慰霊祭を行い、異国の地で亡き父への想いを涙ながらに語りかけた。

また、A班はクリドール、B班はチタの孤児院を訪問し学用品等を贈り、校庭に記念植樹し、子供たちと交流を深めた。さらにA班はビロビジャンの「全ロシア障害者協会」、B班はチタの「地方臨床病院」に、松葉杖と三本松葉杖を寄贈し、現地関係者と友好親善を図った。

三十一日、ハバロフスクの「地方臨床病院」に、松葉と三本松葉杖を寄贈し、現地関係者と友好親善を図った。

三十一日、ハバロフスク市郊外にある日本政府建立の「日本人死亡者慰霊碑」において、在ハバロフスク日本国総領事、平和基金ハバロフスク代表参列のもと、全戦没者追悼式を厳粛に挙行し、英霊に感謝の誠を捧げた。



クリドール孤児院の子供たちに学用品を手渡す団員＝8月28日、クリドールで

お父さんへ

第53回

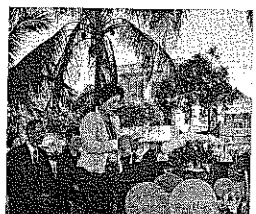
お父さんが亡くなった戦地、ミャンマーへいつかは行って見たいと思っていましたが、やっとくることが出来ました。遅くなってごめんなさいね。この遠い所で家族のことを思えばさぞ無念な気持で一杯だったでしょうね。

私がお母さんのお腹にいた時、出征し、帰らぬ人となりました。お父さんと姉（三歳）が出征前に写した写真を見ては、私のお父さんだと自分に言いきかせていました。姉は八歳の時、はしかで亡くなりました。お母さんはどんなにつらく、悲しかった事でしょうか。

お母さんは働きづくめで、私を育ててくれました。今年九四歳です。腰は大きく曲がっていますが、自分の事は自分で出来る程元気です。お父さんが見守ってくれているおかげさまと私はいつも思っています。一緒に来ることは出来ませんでしたが、私がこの地に来ることにても喜んでくれました。そして、お父さんのことを話してくれました。お酒もタバコも飲まなかったこと、私が小学校の時扁桃腺の手術をしたが、扁桃腺の悪いのは父親似であること、そして三ヶ月出征が早かったら私が生まれてなかったこと等、私がお父さんのことを聞きたくても、朝から夜遅くまで休む暇もないくらい忙しそうに働いていたお母さんに、聞けなかったことをこの機会があったおかげさまで、夜遅くまでお父さんの話を聞かせてもらえることが出来ました。

戦後六六年になりますが、今、母と私達夫婦、娘夫婦と孫の四世代の家族で暮らしています。写真を持参しましたので見てくださいね。私はお父さんに命を頂いて何んのお返しも出来ていませんが、この三〇年間毎日陰膳をさせて頂いております。「お食事です。食べて下さい」と言ってから食事を始めます。私の心の奥にいつもお父さんが居てくれていると思っています。今日は「お父さん」と何度も呼んでみたいと思っていたことが実現してとてもうれしく思います。「有難うお父さん」どうか安らかにお眠り下さい。

十一月十四日　アキャブにて（平成二十三年度ミャンマー参加者、熊本県菜飯原喜子氏追悼文より抜粋）



慰霊友好親善事業
遺児の参加者募集

募集要項は次の通り

▼地域及び時期　実施概要表参照

▼参加費　10万円

なお、東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行うため、集合場所までの交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手続手数料等は個人負担となる。

▼参加資格　戦没者の遺児。五年を経過した方（平成二十二年度以前参加者）は二回目の応募ができる。

手配となる。

また、移動に係る国内交

（洋上慰霊については、五年を経過していなくても応募が可能。ただし、前回の洋上慰霊参加者は応募できない。）

▼申込方法　在住する各都道府県遺族会事務局へ。

参加者の資格審査に当たり、申込書の記入項目の全てに記入を要するので、事前に申込用紙を取り寄せていただき、記入項目に不明な点があれば各遺族会に相談し条件を満たしたうえで提出願いたい。なお、申込多数の場合は選考となる。

また、巡拝地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期または中止となる場合があるので予め承知おき願いたい。

介助あるいは付添を希望される方は各都道府県遺族会へご相談ください。

実施概要

（広域地域）

	実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1	トラック・パラオ諸島	平成27年10月31日～11月7日	30人	9月18日
2	ソロモン諸島	平成27年11月7日～11月14日	20人	9月25日
3	ミャンマー	平成27年11月13日～11月22日	45人	10月1日
4	フィリピン	平成27年11月25日～12月2日	120人	10月13日
5	洋上慰霊	平成28年3月1日～3月10日	400人	12月5日

本会への賛助金のお礼

本紙（同面）でもお願いしている本会への賛助金につきまして、ご賛同いただきました左記の方々に対し、お礼申しあげます。

なお、大変恐縮ではございますが都道府県名については、送金方法により居住地が特定できない場合がありますので、省略させていただきます。

賛同者名（敬称略・カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等）

菅川潔、辻本太藏、高橋賢一、廣安登、西澤正順、正岡博美、吉崎龍平、澤田剛、浜本信也、表谷吉雄、藤山武伺、坂本友亮、井上千恵子、成田志眞子、新宅進、兼村正美、佐方武子、澤正、富岡敏子、村上國夫、熊本市遺族連合会、阪井一生、増田好美、鴨田篤和、堀文一、木村宏忠、石原温子、西坂ミエ子、櫻井美智子、広木与志子、原口紳公、田邊英樹、梅北一八、岸美千代、赤坂憲行、千葉幸代、長谷川和代、北川哲朗、青山作市、スギモリカイジ、スズキマリコ、キクチミヤ、アベミエ、キタジマカズオ、マルビシ（以上、八月一日から八月末日まで）

皆様からいただきました賛助金は、本会が実施する各種慰霊事業などの活動費用に利用させていただいております。誠にありがとうございました。

本会事業参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報は「個人情報保護法」の定めに則り、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

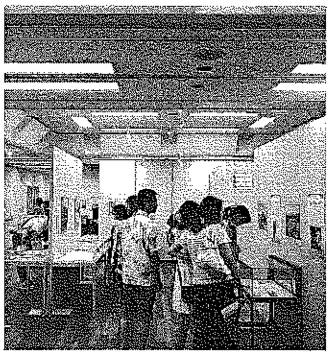
二万二千人以上が来場 激動の昭和20年を紹介

昭和館 特別企画展

昭和館では、平成二十七年七月二十五日（土）から八月三十日（日）まで特別企画展『戦後七十年　昭和20年という年〜空襲、終戦、そして復興へ』を開催した。激動の昭和20年を実物資料の展示を中心に、二百十四点の資料で紹介した。期間中には二万二千百三十七人が来場し好評のうちに終了した。

戦後七十年を迎えた今年、昭和館の特別企画展では『戦後七十年　昭和20年という年〜空襲、終戦、そして復興へ』を開催した。激動の昭和二十年を「空襲にさらされる日本（一月〜八月）」、「終戦八月十五日」、「混乱の中からの出発（九月〜十二月）」の三つの時期に分け、国内における労苦を実物資料中心に紹介した。展示の総数は二百十四点で、そのうち昭和二十年の資料が百七十二点展示された。

期間中、会場には年配者から学生、親子連れなど二万二千百三十七人の来場者が訪れ、「戦後七十年という機会に改めて戦争について知りたいと思った」という声を多く聞かれ、好評のうちに終了した。


展示資料を熱心に見入る大勢の見学者＝昭和館で

また、昭和館では毎年二カ所で巡回展を開催しており、今年は十月十七日（土）から十月二十七日（火）にかけて長野市（ホクト文化ホール）で、十月三十一日（土）から十一月八日（日）にかけて和歌山市（和歌山県民文化会館）で行われる。

この巡回展では、実物資料を中心に、戦中・戦後の厳しい時代を生き抜いた人々が綴った手記や、その姿を記録した写真・映像を展示する。展示資料の半数は開催地に係わる資料を取り入れ、母や子、そしてその時代に生きた人々の様々な思いや、苦難の多かったくらしを紹介する。

なお、昭和館では、「貸出キット」の貸し出しも実施している。追悼式などで、簡単な展示を行いたい場合には、ご活用いただきたい。（問合せ先・昭和館学芸部 ☎03・3222・2577）

秋篠宮ご一家訪問

皇太子ご一家の行啓に続き八月七日、秋篠宮同妃両殿下、佳子内親王殿下並びに悠仁親王殿下が昭和館にお成りになった。

七階展示室にある全国の空襲被害を示すタッチパネルをご覧になった悠仁親王殿下は、ご自信で操作されて原爆により広島の犠牲者が多いことをご確認になり、秋篠宮殿下からご説明をお聞きになっていた。

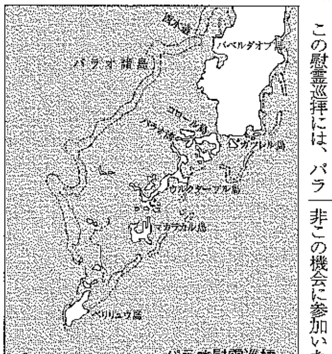
本会主催パラオ慰霊巡拝 参加者を募集

日本遺族会では、パラオ共和国への戦跡慰霊巡拝の実施を来年二月に予定している。

この慰霊巡拝には、パラオ共和国及びその周辺海域で肉親を亡くされた戦没者の関係遺族であればどなたでも参加ができるので、是非この機会に参加いただきたい。

募集要項は次のとおり。

▼実施時期　平成二十八年二月中旬（四泊五日）
▼実施地域　地図参照
▼募集人員　20人（予定）
※募集人員を上回った場合は選考となる。
▼参加資格　パラオ共和国及び周辺海域で亡くされた戦没者の関係遺族（①妻、②遺児、③兄弟・姉妹、④甥・姪、⑤孫⑥配偶者《②〜⑤の》等）
※原則として、航空機等による長途の移動及び気候・風土の異なる地での旅行に耐えられる健康状態が良好な方に限るので、心配な方は申込みの際に事前に申告願いたい。
▼参加費用　25万円〜29万円で調整中
※参加人数により費用は異なる。また、集合場所の東京までの往復交通費等は別途個人負担となる。
▼申込締切　12月末日
▼申込方法　申込は在住する各都道府県遺族会の事務局へ。



パラオ慰霊巡拝実施地図

愛しきものへ

大君の御為に

海軍少尉　本假屋孝夫
昭和二十年三月十八日
九州東方海面にて戦死
鹿児島県姶良郡霧島村出身 二十歳

兄上様　お喜び下さい。

今度、特別攻撃隊員に選ばれて明日愈々出撃することになりました。大君の御為に役に立つ時が来たのです。男子の本懐これに過ぐるはありません。笑って突っ込んで行く覚悟です。万里の怒涛を乗り越えて敵陣に黒丸一家がなぐり込みをかけるのです。こんな愉快なことはありません。兄上様にも喜んでいただけると思ってます。生きて還らぬ決死の突撃隊です。出水に居る頃は、本当に御世話様に相成りました。深く深く感謝致しております。御恩は死んでも忘れません。姉上様にもよろしく御伝え下さい。

「男子生まれ　空行かば　雲染む屍悔あらじ」歌にもあります。大空の果て珠と砕けるは、我々の最も本懐とする所です。桜の花が世の人に愛されるのは、惜しまれて散るからです。人間も世の人に惜しまれて散る所に良い所があるのです。人間死場所を逸したらろくな最後はとげられません。私が死んでもどうか悲しまずに大君の御為によくぞ死んだ天晴れな最後だったとほめてやって下さい。兄上様、姉上様、憲ちゃん、敬ちゃん達の健康を草葉の陰より祈っております。

さようなら

花は桜木陸爆乗りは若い命を惜しませぬ
花のつぼみの二十で散るも何か惜しまん君のため
還らじとかねて思えば梓弓
咲く春を待たずして我は散るなり

（原文のまま）
【平成二十七年九月靖国神社社頭掲示】
愛しきものへ

九段短歌

作品をお寄せください。

選者　三井勝生

玉音が流れて暑い夏の雲爺さんの目に涙か汗か　那須塩原市　小河原勝夫

父の顔見られず迎へし古稀祝ひ軍服の父に敬礼する弟　甲州市　三森一雄

老兵ら長き間の沈黙に記憶は消えず語り部となる　千葉市　石橋嘉子

故郷遠き戦死の兵らの墓守り今朝も清むるペリリューの人　青森県　田中恭子

玉砕の島のしづけさ山に壕海に沈船ありてかなしき　富士吉田市　萱沼勝由

戦争の最中に生まれし吾なれば亡き父思ひ母を偲びぬ　甲州市　数野星子

戦争は惨い心に孤独なり父は一人で急ぎ旅立つ　名古屋市　村瀬慶佐子

満蒙の肉親十人灰となり「くるでなかった」のはがき涙もて読む　上田市　滝澤まさ子

焼跡に母が植ゑしなすとまと出征の父待ちし食卓　大阪市　高岡千鶴

七十年戦艦の柩でねむる父かたみ絵手紙月見草咲く　南相馬市　柴田征子

長崎の街の夜景の美しさ平和を願ふ魂の輝き　名古屋市　武藤武子

遺影の父瞼におきて命日に故郷向きて手を合はせをり　長浜市　雨森貴子

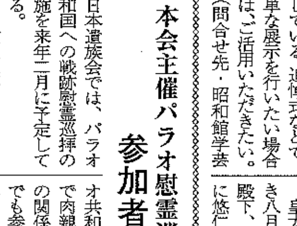
◇

昭和二十年八月十五日昭和天皇の玉音放送により、大東亜戦争の終結が公表されました。同年九月二日、七月二十六日連合国のポツダム宣言を受諾、これにより我国は占領統治下に置かれました。そして約六年後昭和二十六年九月八日サンフランシスコ講和条約が米・英中心の四十八ケ国と調印されました。この講和条約が発効された翌二十七年四月二十八日は日本が独立国となった日です。従って「独立記念日」とすべきである、とする各種団体や個人などの行動が盛んに行なはれてゐるのです。（選者）

地方だより

▼富山県　8月3日　忠霊塔合葬戦没者二万八千余柱の慰霊祭（490人）
▼鹿児島県　8月9日　第10回遺児の集い・第4回英霊にこたえる会（145人）

物忘れが増えたら要注意!!



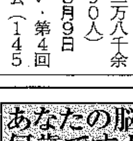
岩崎ミチさん（鹿児島県在住）

上の写真の岩崎ミチさんは実年齢八十七歳だが、記憶力も確かで言葉も行動もハツラツとしている。そんな彼女の脳年齢はなんと三十二歳。いったい、この秘訣はどこにあるのだろうか。

調べてみると、意外な事実が分かった。「人間の脳細胞は年齢とともに減少し、再生しない」と、百年にわたり信じられてきた定説が覆されたのだ。一九九八年、アメリカとスウェーデンの研究チームは、学習に関わる脳細胞が大人の脳内で新たに作られていることを確認。また、日本とアメリカの共同チームは、脳細胞に必要な栄養を与えることで脳細胞の増殖・分裂に成功した。つまり、老化によっておとろえてしまった脳も若返るというわけだ。

そこで、脳に必要な栄養として忘れてはならない成分が核酸。核酸が主成分の健康食品を摂取したモニターの脳年齢を調べてみたところ、八七・五％の被験者が満足したという。その中のひとり、六十二歳の女性に話を聞いた。彼女は、数年前から物忘れがひどくなってしまったという。「物忘れが進行してしまった母親を間近に見ていますから、私までなってしまったらどうしようと、真剣に悩みました」

そんなときに出合ったのが、脳内核酸。しばらくして、少しずつ物忘れが気にならなくなってきたという。「これは期待できると思って脳年齢を測定してみたら、なんと三十五歳。驚きですよ」

あなたの脳年齢は何歳ですか？
お申込番号 1345-イ ご注文の際はこの番号をお伝え下さい。
0120-04-9898
FAX 0120-04-9896（24時間）
ハガキ 〒197-0822 東京都あきる野市小川東1-22-5 毎日元気 受注・発送センター「1345-イ」係

脳内核酸
約1ヵ月分（248粒・内容量59.52g）
6,500円
返品OK!全額返金　変更・中止できます　送料無料
(有)毎日元気 〒105-0004 東京都港区新橋3-2-3